R-18
ADULT ONLY
姫騎士アリシアの受難
触手服は姫騎士に寄生したい
PRESENTED BY
聖華快楽書店
STORY BY エルトリア
ART BY ちょこみんと
黒ラバーの触手服に寄生された姫騎士は触手の執拗な責めに屈し快楽に溺れる
ぴっちりラバースーツには逆らえない！

いやあああっ！
あああああ！
膣
卵
ボテ腹
コミック65ページ

レイスヴァイン王立騎士団の団長・
アリシア・フォン・レイスヴァイン
肩書き相応の
実力を持つ彼女は
街の近くに出没した
人食い熊の討伐に
出向いていた
ふぅ。
熊如きに手こずらされて
しまったな……
早く街に戻りたい
ところだが……
さすがにこれでは
街に入れないな
確か近くに
小川があったはず
軽く血を
洗い流してから
帰るか
ガサ
ガサ

うーん……
また大きく
なっているような……
たゆ…
たゆ…
これ以上
大きくなられると
剣を振るのに
支障が出かねないのに……
ちゃぷ
んっ？

ひゃあっ!?
な、なんだっ
これっ！
くぁあっ!?
ぢゅむむ
ぢゅぢゅ
むぢゅぢゅ
むぢゅぢゅ
ぢゅっ
いやあああああっ！
入って、来るなぁ！
んあぁっ!?
吸わないで……ッ！
ちゅ〜っ
ひっ

膣内に

入って……！

いやあああああっ！

ずりゅりゅりゅ

ずりゅりゅ

ずりゅりゅ

ダメッ！

入って、くるぅ……っ！

にゅぷ

にゅぷ

ビクン

おぶっ！

はぁ

はぁ

私の、ナカ……ッ

かき混ぜ、られて、る……

ッ!?

じゅぷっ

じゅぷっ

じゅぷっ

突く、なぁ……っ！

ぐにゅ

ぐにゅ

ぐにゅ

ズヌッ
グズッ
ズズッ
イ、イクッ
逝っちゃうぅ……っ！
ズボッ
キュン♡
ああああああ!!
ズタッ
キュン♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ

と、とにかく
街に戻ろう……

何か方法が
あるはずだ……

く……
だめか……っ
脱げない……っ
剣で斬ろうにも……
こう隙間なく
張り付かれてしまっては……

はあ……

アリシア様！
おかえりなさいませ！
人食い熊は
どうなりました？
ああ、
人食い熊は
心配ない
問題なく
駆除できた
さすがはアリシア様
迅速な解決ですな
アリシア様さえいれば
怖いのもなど
何もありませんな！
フッ
ぐにゅ
ぐにゅる
ゾクッ
ゾクゾク

……ダメね
びくともしない……
コト。
はぁ……
少し広がってる……？
成長してるってこと……？
誰かに相談しないと……
でも誰に……
アリシアは
怪しげなものに
寄生されたということを
誰にも話せなかった

アリシア様だ！
おはようございますアリシア様！
バレてない……
バレてない……
んっ……！
っ……
アリシア様
ん……ッ
大丈夫、だ
なんだか顔色が優れないようだけど大丈夫ですか？
少し、風邪気味でな
コホン。
ちゅ！

数日後――
はぁッ
はぁッ
はぁッ
ん……ッ
くぅ……ッ
くそぉ……っ
日に日にどんどん広がって……っ
どうしたら……っ
ふぐぅぅぅっ！
揉まれているみたい……っ
ぷた
くぁあ……！
まるで胸を誰かに
早くなんとか……しないと……

はぁっ
はぁっ
はぁっ
んん……っ
んう……っ

んっ……
メキッ
メキッ
メキッ
はっ……
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
んっ……
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ

あっ……
ビクン
ビクン
グリッ
にゅちゃ
にゅちゃ
にゅぷっ
にゅるる
にゅるる
ああっ
あっ…
イッ
あっ
あっ
あっ
やっ…
あっ
あっ
あっ…はぁ
グニュ
グニュ
ムギュ
ギュ
キュン
キュン
ぷっ
ぷっ
ぷっ
ぷっ
ぷっ
ぷっ
ビクッ
グチュ
グチュ
グチュ

ビク
ビク
ヤバ
ビク
ビク
ヤアアア
ギュム
モギュ
ギュム
モギュ
ギュム
はぁ
はーっ
むぐぅ…
はーっ
はーっ
はぁー

数週間後
ひそ
ひそ
ひそ
ん……っ
カツ
カツ
カツ
はぁ……
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
んぅ……っ

チクタク
……おかしいな
いつもならそろそろ……
はぁ……
はぁ……
はぁ……
普段であれば触手が激しく動き始める時間であった
アリシアはそれを無意識のうちに望んでしまっていた
アリシアの体は触手によって開発されていた
寝ている間もずっと弄られ続けていたのだから当然だ
チクタク
しかしここに来て急にその刺激が止み、彼女は戸惑っていた
トロ
なんで……動かないのよ……っ
うぅ

ぎゅっ
ふあああっ……！
んうっ！
んひっ！
ひゃああっ！
むぃ…
にゅ…
にゅぉ
にゅ…
にゅるる…
にゅ
うねっ
うねっ
うねっ
うねっ
ぷっくり
ぎゅっ
ぎゅっ
でも……っ！
やだ……ッ
こんなの……ッ！
ビクッ
ビクッ
気持ちいい……ッ！

はひっ……！
はっ
はっ
はっ
ビク
もにゅ
もにゅ
ぬぷっ
ぬちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
んあぅうぅっ！
ギュポ
ギュポ
ビクン
ビク
ビク
ビク

なんで……
動いて
くれないのよ……っ
もっと奥まで
欲しい……っ
普通ならば
そんな目的で
使用するなど
言語道断だと
一蹴していただろう
何か――
アリシアにとって
剣は騎士の誇り
そのものである
だがこの時の
アリシアの思考は
快楽に
支配されていた

はぁぁあん
イクぅぅぅぅ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
はーっ
はぁーっ
はぁーっ
チッ
チッ
はぁーっ

さらに
数週間後
アリシアは
体調不良を理由に
部屋に引き籠っていた
ふふふ……♡
大きくなったわね……♡
あは……っ
元気一杯ね……！
はっ
あっ
ギュム
ぐぷっ
ぐぷぷっ
キュッ
キュッ
にゅぢっ
ぐちゃ
ぐちゃっ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ

ぢゅぢゅ
ぢゅ
あ……っ♡
フーッ
フーッ
フーッ
ずりゅっ！
ふあああっ！
おっぱい
はぁっ♡
はぁっ♡
はぁっ♡
ちゅぱ
ちゅる
ちゅぱ
吸われて……
るぅ……！

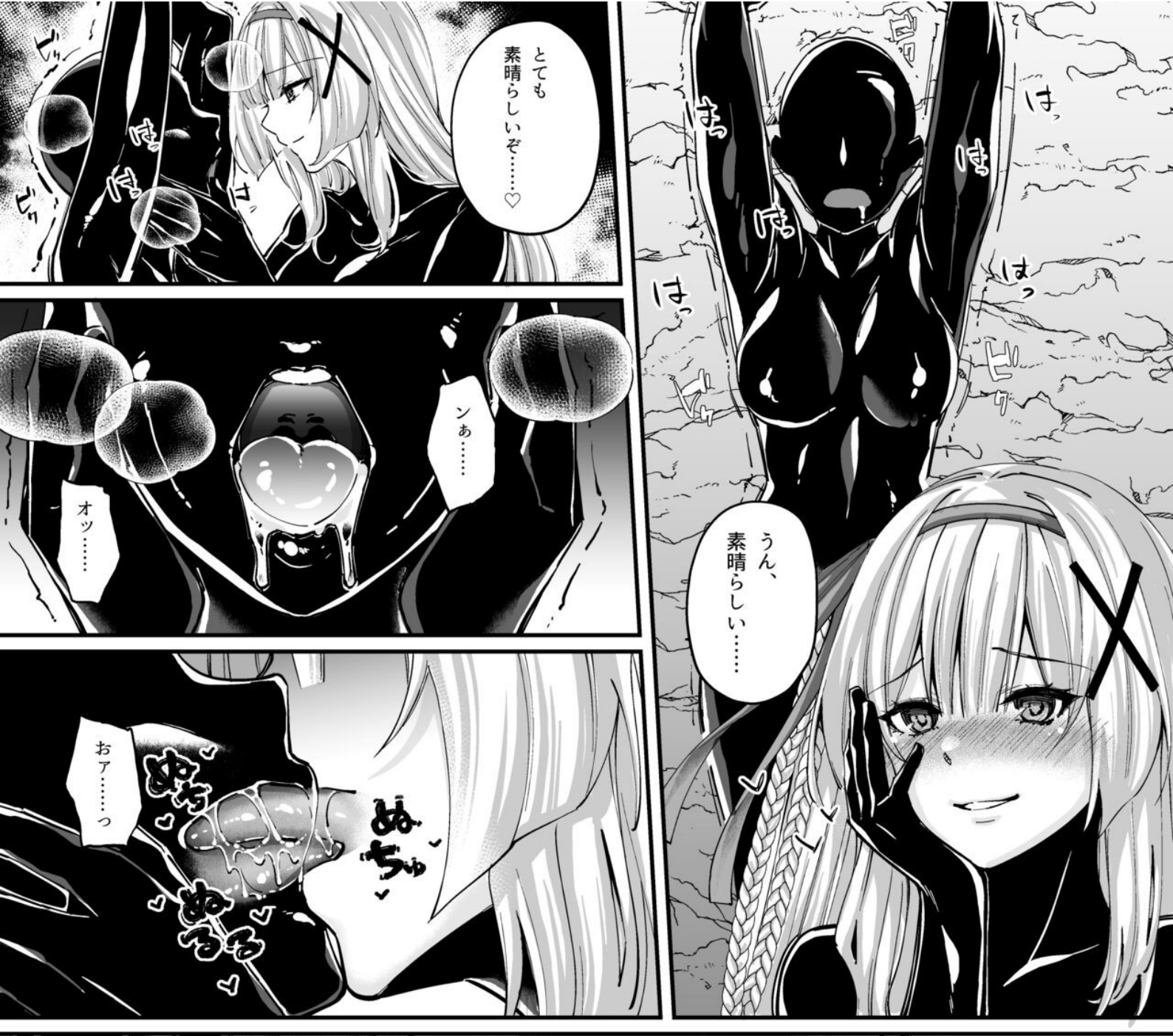
はふ……っ
ぎゅぎゅぎゅ
ぎゅぎゅ
はひ……♡
ふふふ……
元気に育てよ
んあっ♡
あっ♡
はふぅっ♡

これ以上
大きくなったら
さすがに隠し
通せないか……
この子たちを
外に産みに
行かないと……
ぎゃお
ぎゃお
キュッ
キュッ
そうだ……
いっそ――
アリシア様が
行方不明に
なっただと？
ざわ
最近様子が
おかしかった
らしいが……
ざわ
街の外の巡回に
出たきり帰って
こないらしい
ざわ
最近頻発してる
誘拐犯の仕業か？
ざわ
とにかく
探さないと！
ざわ
ご無事であれば
いいのだが……

誘拐団のアジト
ひぃぃ！
あぁぁっ
やぁぁ
はっ
あっ
はーっ
はぁっ
あっ
ギュッ
ギュッ
ギュッ
ギュッ
ギュッ
はぁっ
はーっ
はーっ

ごりゅるるるぼとっ
ぐぐぐ
はっ
はっ
はぁ
んぁあああっ……！
はぁっ♡
はぁっ♡
ヌポッ
ヌポッ
ヌポッ
ヌポッ
ぬぽぉ
ふふふ……
お待たせ♡
もにゅ
もにゅ
もにゅ
ひっ……！
やだっ！
来ないでっ！
いやあああっ！
気持ち悪いっ
取ってぇっ！
大丈夫
怖くないぞ
気持ち悪いのは
最初だけ……
すぐに貴女も
この子が愛おしく
感じられるように
なるから♡
ずずず…
ふぎぃいいっ！
入って
くるぅうっ!!
プププ

いい感じに定着したようだ♡
取ってぇ……！
はぅ……っ！
ひゃっ
あぁっ
んぅ……っ！
なにゃ
ぐにょ
ぐにょ
ぐにょ
いいおっぱいだ
これなら
すぐにでもミルクを
出せるようになる
ひゃうっ!?
お腹、中、
広がって……っ!?
ぶちゃっ
あぁっ
ぶるっ
すごい勢いだろう？
私でコツを
掴んだみたいでな
はぁっ♡
はぁっ♡
私が産んだ触手は
ものの数十分で
人の体を覆い切って
しまうんだ
やめてぇえ！
頭おかしくなるっ！


はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
ビク
うん、
素晴らしい……
とても
素晴らしいぞ……♡
ンぁ……
オッ……
ぬちゅ
ぬるる
おア……っ

ん……っ
いいぞ……♡
そのまま触手服に包まれる
悦びを知るといい……♡
ンぁ
ンうう
おぁうウアッ……！
びくん

ぬちゃっ
ぬちゃっ
ぬちゃっ
んあっ
んあっ!
ふふ……
気持ちいいだろう
何も見えず
何も聞こえず
何も喋れない
貴女はそういう
肉人形になったんだ
好きなだけ
気持ちよくなって
いればいい
んあっ
ああ
うあっ!
うあっ!

ふぁあぁあぁあん♡♡♡
ぬっちゅ♡
ぬっちゅ♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
あっ
うぁうっ！
うぁぁっ
あっ
あうっ
あっ
ズンッ
ズンッ
ズンッ
ズンッ
んぁっ
あっ♡
んぁっ
はっ
ああっ
んっ♡
シュルル
ニヤリ
これで貴女も
私の仲間ね♡
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ

それから数か月後――
いたぞー！
誘拐された
女性たちを発見！
これはむごい……
だが、皆息はあるようだ
治癒術師を連れてこい！
かなり衰弱している！
アリシア様！
助けに来るのが
遅くなってしまい
申し訳ありません……！
救援に感謝する
私より他の女性たちに
手を貸してやってくれ
おお……
さすがは
アリシア様……！
アリシア様
誘拐団の者たちは
どこへ？

すまない
私にもわからない
急に慌ただしく
騒ぎ始めたと思ったら
私たちを置いて
出て行ってしまった
さては我々の
接近を察知して
逃げ出したか……
追え！
まだ遠くには
行っていないはずだ！

もちろんで
ございますとも！
我々が責任を持って
彼女たちを街まで
連れていきますから

捕らわれていた女性達が
元の生活に戻れるように
してやってくれ

トロ…

ニュルリ

ああ……
よろしく頼むぞ